

1

多年にわたる地域貢献に対し
市長感謝状を贈呈

Letter of Appreciation

市長

感謝状贈呈式を12月11日、田原市役所講堂で開催しました。

催しました。

これまで長年にわたり地道な活動で地域に貢献されてきた皆さんに対し、市としてあらためて感謝の意を表すとともに、今後の活躍にも期待を込めて、市長から一人一人に感謝状を贈呈しました。

感謝状贈呈者は次の皆さんです。(順不同/敬称略)

地域の安心・安全見守りに

貢献

- 山本良夫(神戸町)
- 西田征洋(大草町)
- 山本吉之(加治町)
- 神谷康元(高松町)
- 清田匡章(中山町)
- 環境美化活動に貢献
- 木下君枝(やぐま台)
- 岡本陸男(浦町)

自然保護活動に貢献

- 鈴木祐一(伊川津町)



▲感謝状を贈呈された皆さん

- 伝統・文化の継承に貢献
 - 福井しようぶ(田原町)
 - 児童健全育成に貢献
 - 高津貴康(六連町)
 - 青木しげ子(亀山町)
- ▼広報秘書課 ☎22局01338

2014年を振り返る 「田原市10大ニュース」

- ◆大規模災害に備えた連携体制、さらなる強化へ(1月)
南海トラフ巨大地震の発生が心配される田原市。災害時の救援や復旧と市民生活の安定を図るため、同時被災への可能性が少ない自治体や民間団体などと連携を強化。(北海道苫小牧市、JA愛知みなみ、福岡県宮若市、(株)田原学校給食センター、(株)ヤマナカと協定書を締結)
- ◆日本最大級のオール電化型給食センターが竣工(2月)
徹底した衛生管理のもと、米は田原産を使用するなど「地産地消」に積極的に取り組み、栄養バランスのとれたおいしい給食を、4月から市内保育園・幼稚園、小・中学校に提供を開始。
- ◆野田中学校の統合、伊良湖岬小学校の建設候補地が決定(2月、7月)
学校再編に伴い、野田中を田原中へ統合(平成28年4月)する方針を決定(2月18日)。また、伊良湖岬小学校の建設候補地を伊良湖岬中跡地とすることを決定(7月28日)。
- ◆市内初の民営化保育園がスタート(4月)
民営化された漆田保育園では、保育開始年齢の引き下げ(生後6カ月から)や、土曜日保育の延長(午後3時まで)など、きめ細かな保育サービスが可能となった。
- ◆漁夫歌人糟谷磯丸翁の生誕250年。地域が一丸となり遺徳を後世に(4月)
地域住民で組織した記念事業実行委員会が中心となり、磯丸を解説した冊子の配布、記念式典、企画展の開催などを通じ、市民にその遺徳を広めた。
- ◆議会改革の取り組みにより市議会議員定数を20人から18人に削減(6月)
平成25年12月から議会改革特別委員会が調査・検討を重ね、議員提案により平成26年第3回定例会で条例改正を可決。(平成27年2月の次期市議会議員一般選挙から適用)
- ◆日常のちょっとした困りごとを地域で解決「生活ささえあいネット」がスタート(10月)
「支援を必要とする人」と「支援できる人」の間をつなぎ、市内で安心して生活が続けられるよう、身近な地域で市民同士が助け合う仕組みを開始。(地域通貨「菜」を使用)
- ◆国内最大級の太陽光・風力のハイブリッド発電所が竣工(10月)
田原市臨海部に太陽光50MW、風力6MWの発電能力を有するたはらソーラー・ウインド発電所が10月から稼働開始。再生可能エネルギー施設の一大集積地に。
- ◆「健康都市」としてWHO(世界保健機関)から認証(10月)
田原市が加盟するWHO提唱の健康都市連合。国際大会(香港)で新会員認証された。また、健康都市への取り組み「健康マイレージ」がスタート。「健康」を視点としたまちづくりが本格化。
- ◆渥美半島の魅力を高める観光拠点相次いでリニューアル(10月)
蔵王山展望台を一新。市の環境への取り組みの紹介など田原の魅力を感じられる施設に(10月4日)。伊良湖休暇村公園に日本初の「砂丘とオアシスの再生」をテーマとした「いらっささらパーク」が一部オープン(10月24日)。渥美半島観光の周遊性が高まった。